

平成29年3月期 第2四半期
決算・会社説明会資料

株式会社インターワークス(東証1部 6032)



証券コード 6032

エグゼクティブサマリー

✓ **平成29年3月期 連結業績予想： 期初予想に修正なし**

売上高：44億円 対前年比 **115.8%** 営業利益：9.6億円 対前年比 **120.7%**

✓ **第2四半期 対前年比： 期初想定通りの進捗**

第2四半期(累計)	全社	M&S事業	人材紹介事業	採用支援事業
売上高 対前年比	111.7%	105.9%	112.6%	119.5%
営業利益 対前年比	118.7%	128.8%	208.0%	46.0%

* M&S事業：メディア&ソリューション事業

✓ **M&S事業及び人材紹介事業は堅調に推移。採用支援事業は役務提供期間が短縮。**

- ・ M&S事業: 主力サービスの「工場WORKS」が昨対113%。1社当たり単価が向上し利益向上
- ・ 人材紹介事業：成約単価の向上、コンサルタント1人あたりの生産性向上により大幅に利益向上
- ・ 採用支援事業：度重なる就職倫理憲章の変更により新卒採用に関する役務提供期間が約2カ月短縮すると同時に業務の集中化による人件費等のコスト増加の影響を受ける

✓ **下半期の展望**

- ・ M&S事業及び人材紹介事業：上半期同様に堅調に業績の進捗を見込む
- ・ 採用支援事業：2016年12月から始まる2018年新卒採用サービスに向けて営業活動を行うと同時に前期より導入準備を行っていた定型業務を自動化するシステムを導入することで短期化対応オペレーションを構築し収益率を改善し利益の積み上げを確実にする

1

平成29年3月期 連結業績予想

2

平成29年3月期 第2四半期 決算概要

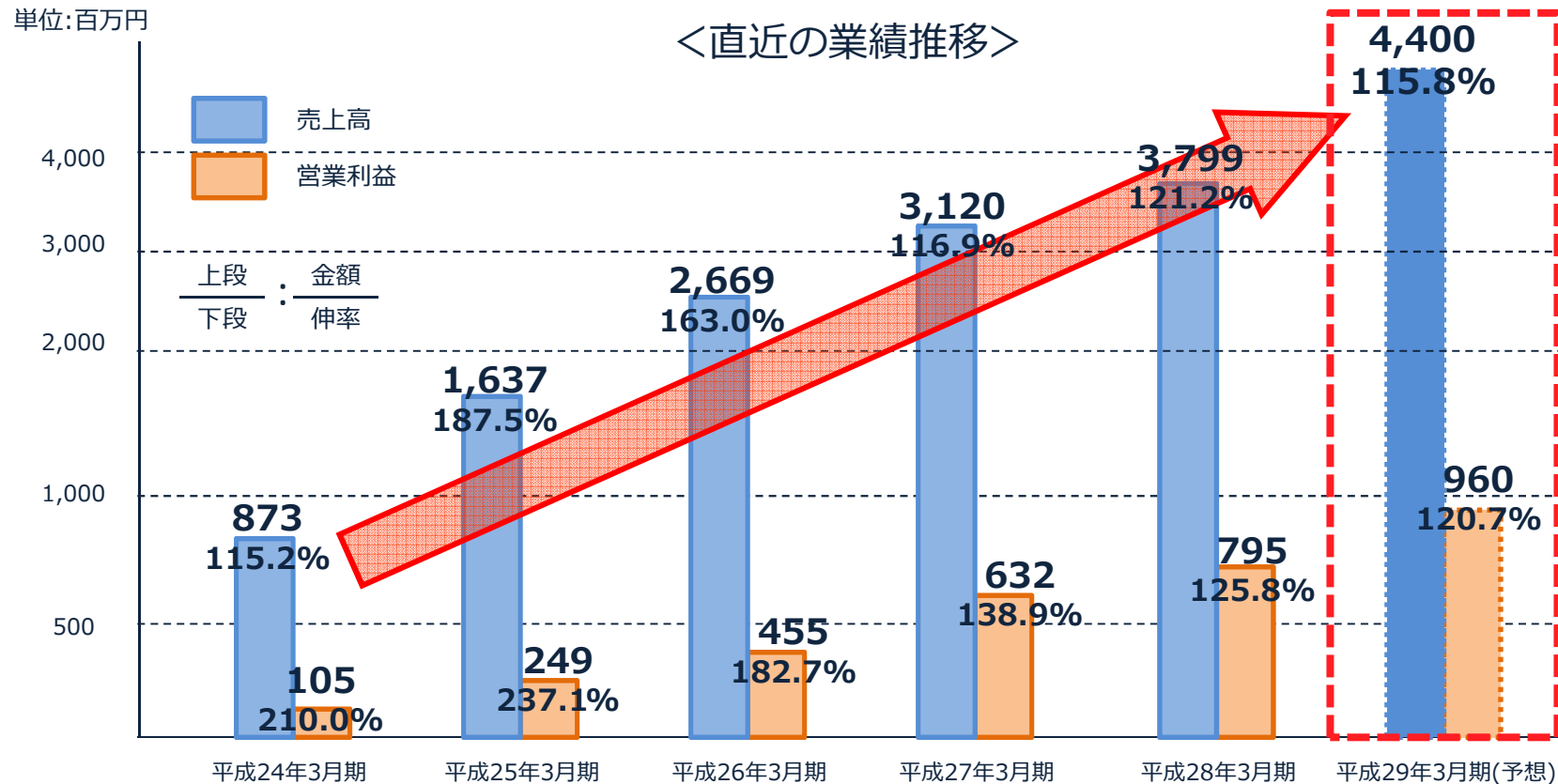
3

平成29年3月期 第2四半期 セグメント別状況

1-1 平成29年3月期 連結業績予想

✓ **売上高:44億円、営業利益9.6億円** (期初予想から修正なし)

- **6期連続 増収増益**を目指す
- **6期連続 2桁成長**を目指す



1-2 配当の状況

✓ 年間配当金**26.5円** (期初予想から修正なし)

配当政策の 基本方針	配当性向	当社の利益配分につきましては業績の推移を見据え、株主各位に対する利益還元と事業機会に即応できる財務体質強化のための内部留保の蓄積を総合的に勘案し、適正な利益配分を実施することを基本方針としております。
	40%以上	

単位：円	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
平成29年3月期 (予想)	-	0.00	-	26.50	26.50
平成28年3月期 (実績)	-	0.00	-	22.50	22.50*

*平成28年3月期の内訳：普通配当17.5円＋記念配当5.0円

1

平成29年3月期 連結業績予想

2

平成29年3月期 第2四半期 決算概要

3

平成29年3月期 第2四半期 セグメント別状況

2-1 平成29年3月期 第2四半期累計業績 (前年対比)

- ✓ 前年対比：売上高**111.7%**、営業利益**118.7%**
- ✓ 期初計画通りの進捗

単位：百万円	上半期比較			通期比較		
	平成29年3月期 ＜上半期実績＞	平成28年3月期 ＜上半期実績＞	前年対比 ＜上半期実績＞	平成29年3月期 ＜通期予想＞	平成28年3月期 ＜通期実績＞	前年対比 ＜通期予想＞
売上高	1,994	1,786	111.7%	4,400	3,799	115.8%
営業利益	399	336	118.7%	960	795	120.7%
経常利益	399	336	118.6%	960	774	124.0%
当期純利益	269	222	120.9%	640	511	125.0%

2-2 平成29年3月期 第2四半期累計業績 (年次進捗)

- ✓ 年次進捗率：売上高**45.3%**、営業利益**41.6%**
- ✓ 期初想定通りの進捗

※ 参考資料【四半期別業績進捗トレンド】をご参照ください

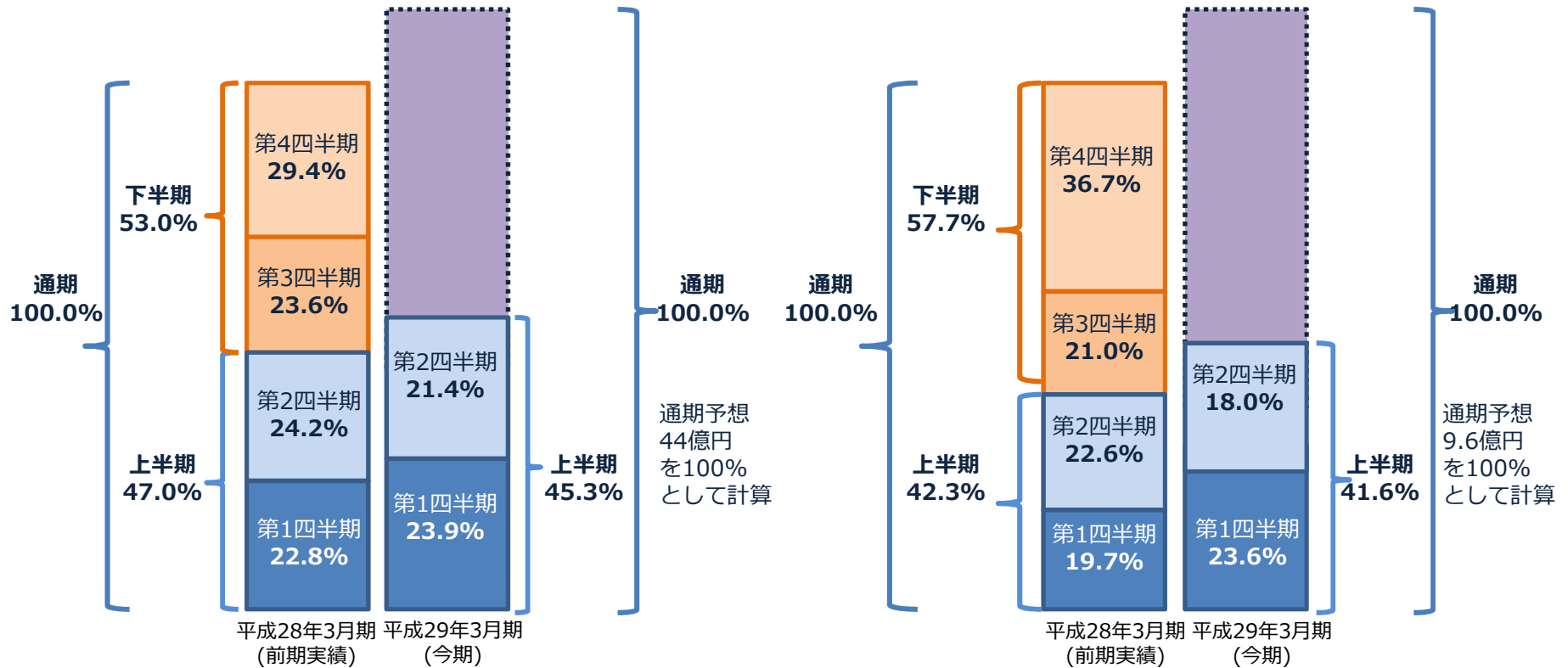
単位：百万円	通期計画に占める上半期の割合			
	平成29年3月期 〈通期計画〉	平成29年3月期 〈上半期実績〉	平成29年3月期 〈年次進捗率〉	前年対比 〈前年同期年次進捗率〉
売上高	4,400	1,994	45.3%	47.0%
営業利益	960	399	41.6%	42.3%
経常利益	960	399	41.6%	43.4%
当期純利益	640	269	42.1%	43.4%

参考資料 四半期別業績進捗トレンド

✓ 売上・営業利益ともに**下半期偏重**の傾向

通期【売上高(予想)】に占める四半期の割合

通期【営業利益(予想)】に占める四半期の割合



1

平成29年3月期 連結業績予想

2

平成29年3月期 第2四半期 決算概要

3

平成29年3月期 第2四半期 セグメント別状況

3-1 M&S事業の状況 (メディア&ソリューション事業)

✓ 前年対比は、売上高**105.9%**、営業利益**128.8%**
 ✓ 要因：工場WORKSの1社当たり単価は対前年同期比 **118.1%**

単位：百万円		平成29年3月期 ＜通期計画＞	平成29年3月期 ＜上半期実績＞	前年 同期比	年次 進捗率
M&S 事業	売上高	2,070	890	105.9%	43.0%
	営業利益	600	284	128.8%	47.4%

＜重点戦略＞

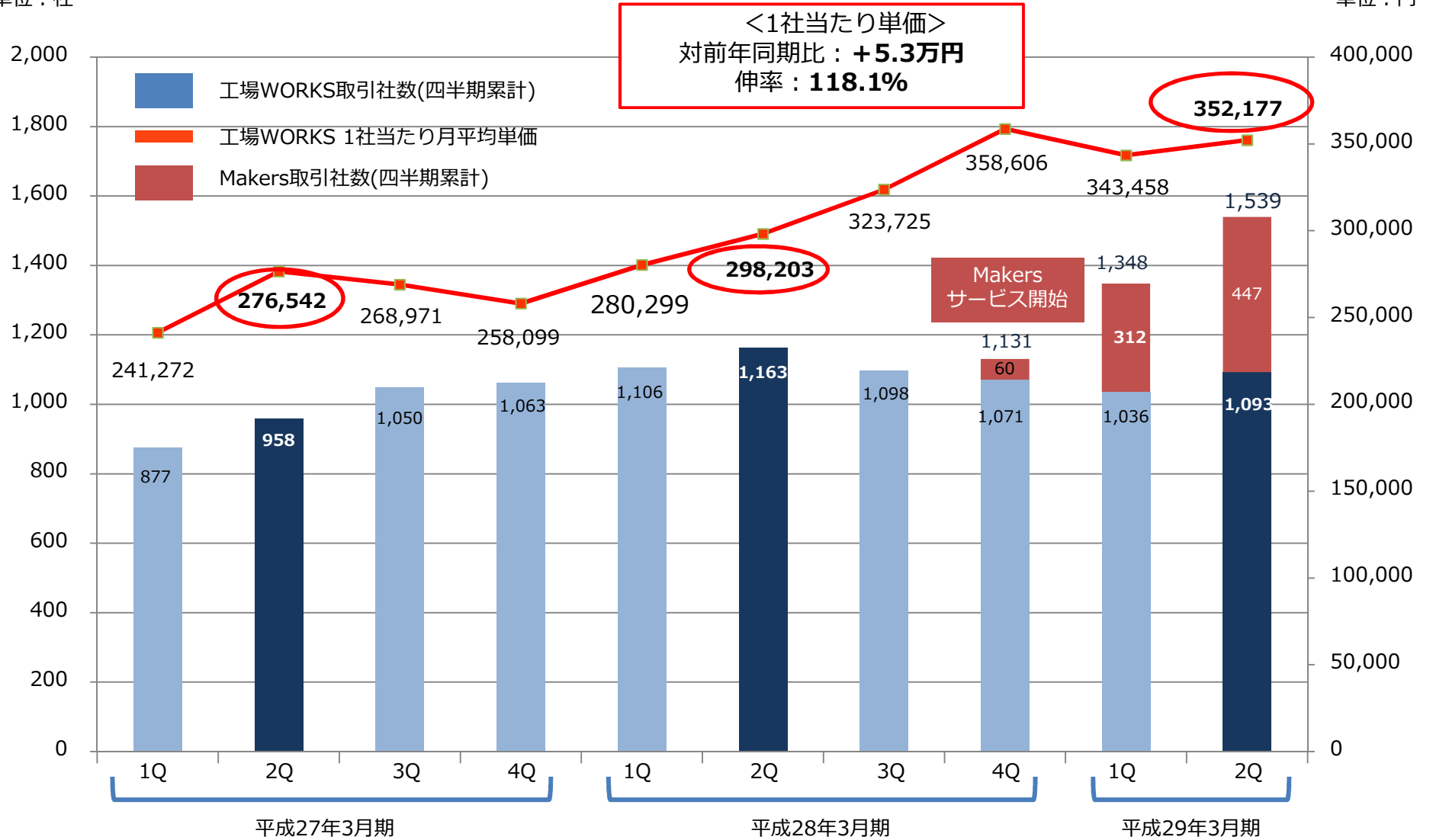
＜進捗＞

M&S事業 (メディア事業)	<p>1.工場WORKS:1社当たり単価の向上 サイトの認知度向上とユーザー拡大を目的とした効果的な広告宣伝を実施することで掲載企業の求人充足を図る。</p> <p>2.新サービス「製造×転職Makers」の収益化に向けた取組み</p>	<p>1.1社当たり単価 対前年同期 118.1%と向上 29万円(前期第2四半期) 35万円(第2四半期)</p> <p>2.製造系メディアへのニーズが堅調 「工場WORKS」及び「製造×転職Makers」のニーズが高いため製造系メディアに資源を集中した活動を行う</p>
-------------------------------	--	---

参考資料① 工場WORKS 1社当たり単価/取引社数

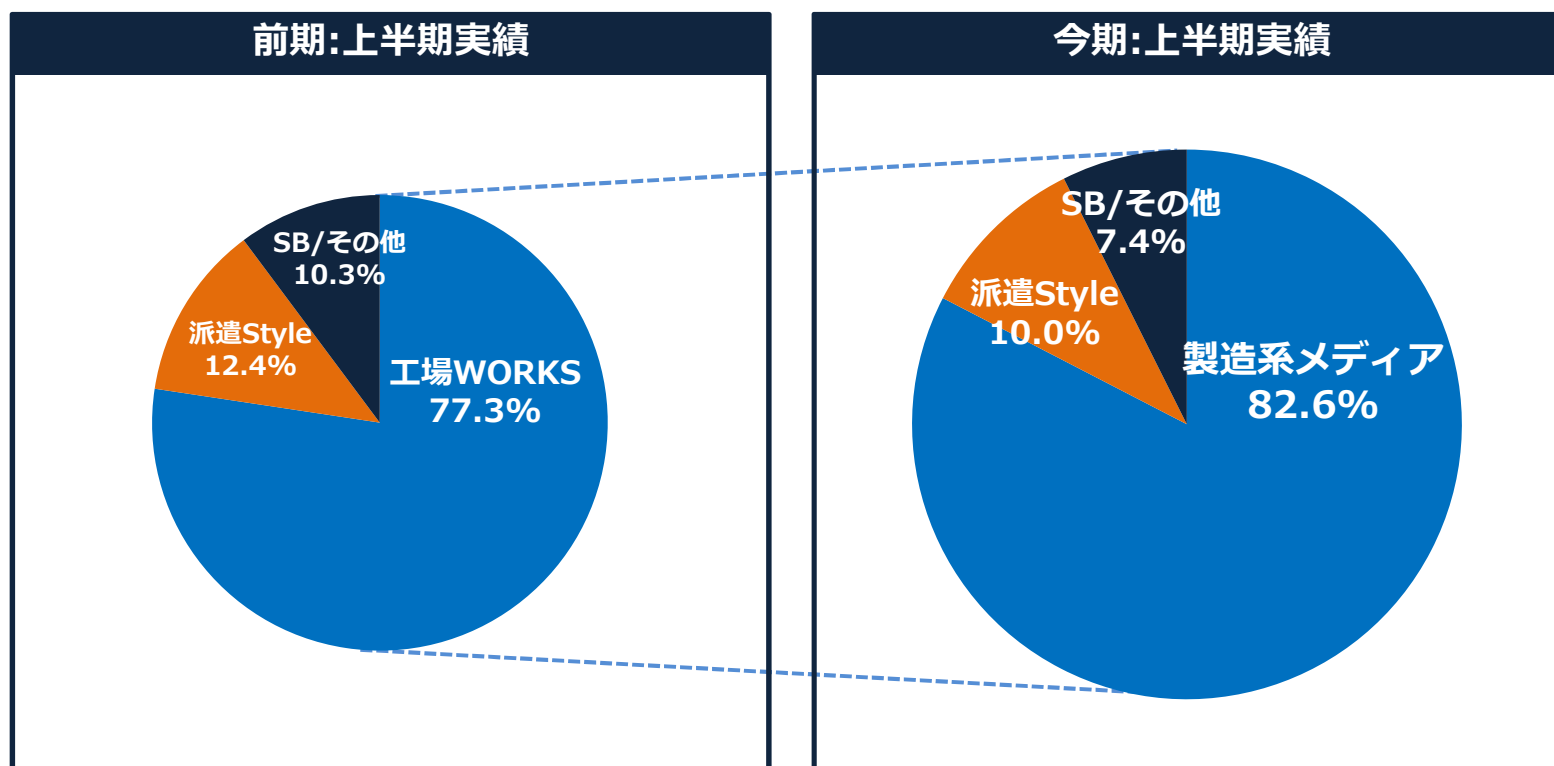
単位：社

単位：円



参考資料② M&S事業サービス別売上構成比

- ✓ 製造系メディア(工場WORKS・Makers)の占める割合が82.6%
- ✓ 製造系メディアへのニーズが堅調のため資源を集中



※ SB/その他：ホームページ制作やPCスキル診断ソフト、適性検査ソフト等の販売

3-2 人材紹介事業の状況

✓ 前年対比は、売上高**112.6%**、営業利益**208.0%**
 ✓ 要因:コンサルタント1人当たりの**生産性が大幅に向上**

単位：百万円		平成29年3月期 ＜通期計画＞	平成29年3月期 ＜上半期実績＞	前年 同期比	年次 進捗率
人材紹介事業	売上高	880	405	112.6%	46.1%
	営業利益	170	80	208.0%	47.4%

＜重点戦略＞

＜進捗＞

人材紹介事業
(中途採用)

1. 成約単価の向上
*紹介者1人当たりの紹介手数料

2. コンサルタント1人当たりの生産性向上
*目標数値を持つコンサルタント1名が1カ月に成約する金額

競合企業の少ない「経営者/経営幹部/専門職」に特化していくことで成約単価の向上及び生産性向上を狙う

1. 成約単価:前期実績と同水準を維持

193万円(前期上半期) **↗** 201万円(上半期)

2. コンサルタント1人当たりの生産性
前期実績比+35万円と堅調に推移

174万円(前期上半期) **↗** 209万円(上半期)

3-3 採用支援事業の状況

✓ 前年対比は、売上高**119.5%**、営業利益**46.0%**
 ✓ 要因:新卒採用の役務提供期間が**短期化・集中化**による影響

単位：百万円		平成29年3月期 ＜通期計画＞	平成29年3月期 ＜上半期実績＞	前年 同期比	年次 進捗率
採用支援 事業	売上高	1,450	698	119.5%	48.2%
	営業利益	190	33	46.0%	17.9%

＜重点戦略＞

＜進捗＞

採用支援
事業

1. 新卒採用支援業務
 就職倫理憲章の変更により選考開始が6月になり、人材不足を背景に長期化する見通しのため、

- ・顧客企業へ確実な役務提供の実施
 - 役務提供のための人員確保
- ・幅広く役務を受注するための深耕営業

1. 新卒採用支援業務

- ・売上高：前年比111.9%と堅調に伸長
- ・役務提供期間が前年より約2カ月短期化すると同時に業務の集中化に伴いコスト増加。
- ・前期より試験的導入を開始した定型業務を自動化するシステムにより、短期化対応オペレーションの構築を目指す。

2. 中途採用支援業務

- ・売上高：前年比126.9%と堅調に伸長

この資料は、株式会社インターワークス（以下、当社）の現状をご理解頂くことを目的として、2016年11月2日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がございます。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。